

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和 7年 7月28日

山北町議会議長 瀬戸 恵津子 殿

受付番号	第2号	質問議員	4番	高橋 純子 
件名	暮らしの再建に寄り添う復興支援を			
要 旨				
これまでの大規模災害では、「復旧」と「復興」の違いに対する課題が指摘されている。インフラ整備や公共施設の再建といった「復旧」は比較的早期に進む一方で、生活基盤の再建、地域経済の再生など災害前の状態に戻すだけではなく、より安全で持続可能な社会を構築する「復興」は後回しにされがちである。 本町は、森林が多く急傾斜地に集落が点在する地理的特性から、災害時には孤立するリスクが高く、さらに高齢化の進行も加わり、発災後の支援体制には住民一人ひとりの暮らしに寄り添う支援が必要不可欠であると考えます。 そこで、命と暮らしの再建を支え、防災・福祉の連携体制の構築、地域で支え合う仕組みづくりといった「復興」が重要だと考え、以下の質問をする。 1. 住まいや生業の再建に関わる「復興」計画は、どこまで具体化しているのか。 2. 心のケアや孤立防止に向けた支援体制は、どのようなになっているのか。 3. 住民の不安や要望、困りごとを受け止める窓口はどのように設けられるのか。 以上				